いいだ 市議会だより

No.180
平成 24.1.24

編集/市議会だより編集委員会　発行/飯田市議会　〒395-8501 長野県飯田市大久保町〔TEL〕0265-22-4511

VEGETABLE OIL INK　R100 古紙配合率100%紙

第４回定例会

- 第５次基本構想基本計画後期計画を可決
- 議会報告会を開催しました（平成23年10月）

雪の朝

定例会のあらまし

平成23年飯田市議会第４回定例会は、11月30日から12月22日までの23日間の日程で行われました。

今定例会では、市側から専決処分の報告等報告案件４件、人事案件２件、条例案件８件、一般案件３件、予算案件５件の計22件の議案が上程されたほか議会議案３件が上程され、原案のとおり同意・可決しました。

今定例会では、市議会として市政運営の根幹をなす基本構想及び基本計画を議決対象としてあらためて位置付けるため、飯田市自治基本条例等の改正を行いました。

今後も市議会では、市の基本構想基本計画の進捗状況を監視、評価していきます。

□目次

基本構想基本計画関連 ……P2
議会報告会開催 ……P3
代表質問の概要 ……P4・5
一般質問の概要 ……P6
請願陳情の審議結果/特別委員会 ……P7
常任委員会の審査状況 ……P8～11
傍聴席・議員コーナー ……P12

第５次基本構想基本計画後期計画を可決

引き続き飯田市自治基本条例等に議会の関与を位置づけ

飯田市自治基本条例等の一部改正

地方自治法の一部を改正する法律が昨年８月に施行され、市町村の「基本構想」の策定義務が撤廃されましたが、「基本構想」は地域運営の根幹をなすものであり、市では引き続き策定することとしました。

市議会では、市の基本構想を監視・評価していくため、今回「飯田市自治基本条例」に基本構想の議決を義務付け、「飯田市議会の議決すべき事件を定める条例」に基本構想及び基本計画の策定、変更、廃止を規定する一部改正条例の議会議案を提出し、可決するとともに、慎重な審議を経て「第５次基本構想基本計画後期計画」を可決しました。今後も、市議会として、基本構想基本計画の進行管理に対し責任を果たしていきます。

基本構想基本計画とは

• 地方自治体が策定する総合計画であり、自治体のすべての計画の基本となる、行政運営の総合的な指針となる計画です。

基本構想基本計画（素案）に対し議会から提言を行いました

• 市議会では、計画全般及び施策の方向性について各常任委員会で評価を行い、「人口目標の達成は困難ではないか」「リニア駅の位置が確定しない中で、この記述でよいか」など約50項目からなる提言を市長に提出しました。

• 市の後期計画では、議会や市民からの意見もあり、平成28年度の目標人口を10万2千人（当初目標10万6千人）と下方修正したほか、将来のリニア中央新幹線開通をみすえリニア将来ビジョンの地域将来像実現など新たに4つの視点を加えるなど変更を行っています。

基本構想基本計画に関する議会での検討経緯

平成23年	
7月中旬	市側から議会に対し基本構想基本計画（素案）概要説明
7月下旬～8月上旬	計画（素案）及び前期4年間の取り組みについての説明及び質疑を実施（各常任委員会）
8月上旬～中旬	計画（素案）について検討及び施策・事務事業に対する行政評価を実施（各常任委員会）
8月末	市長に対し計画（素案）への提言書を提出
9月中旬	行政評価の結果を踏まえ、昨年度の各会計の決算認定を実施
9月下旬	市長に対し、事務事業の行政評価に基づく提言書を提出
10月下旬	計画（素案）の修正について市側より説明（全員協議会勉強会等）
11月中旬	計画最終案について市側より説明
11月末	市側が第４回定例会に後期計画案を上程 審議を経て基本構想基本計画後期計画可決

本会議（11月30日開催）での主な質疑の概要

基本計画（素案）に対する市長への提言

基本構想基本計画について活発な質疑

■本会議での質疑

◆基本構想基本計画について

Q 目標人口を10万2000人に下方修正した理由は。

A **国勢調査の人口は10万5300人あまりとすでに前期目標を下回っており、人口規模は縮小傾向にあるため将来人口推計に基づき変更した。**

Q リニア将来ビジョンは三遠南信地域連携ビジョン、南信州定住自立圏とどう結合されるか。

A **リニア開通で大都市圏と極めて近くなり、大きな変化が予想されるため、リニアを見すえ今からそれぞれの視点で考えていくことが重要である。**

Q 市長が掲げる経済自立度との整合はどう説明するか。

A **後期計画における多様な産業が発展できる経済力が強いまちづくりに基づき各施策に取り組むことで、経済自立度向上につながると考える。**

Q 後期5か年の財政見通しの財源設定は確実な数字か。

A **政府の示す財政フレームでは、3年間は平成23年度の規模を確保するとの姿勢であり、現時点ではこれを信頼する。また、政権の考え方により変わることもあり、変化に応じ柔軟に対応していく。**

Q 市民の幸福度も加味する必要があると思うがどうか。

A **幸福度の指標化については市民意識調査の中で研究していきたい。**

Q 多様な主体によるまちづくりをどう進めるか。

A **事務事業の推進にあたり多様な主体との連携を意識した進め方をしていく。**

Q 10万都市としての機能をどう維持するか。

A **ある程度都市機能を維持していくことを定住自立圏の中心市としての役割として考えたとき、10万の人口規模は維持する必要がある。横断的な考え方を持ち、あらゆる政策施策を結びつけるビジョンを明確にして展開する必要がある。**

Q 市長の最も重要な主張は後期計画のどこに反映されているか。

A **21世紀型の戦略的地域づくりをどのような形で進めていくかが重要と考える。具体的には産業基盤をどのように形づくるか、未来をみすえ人材をどう強化していくか、新しい産業づくりをどう進めるかなどを重点施策として掲げていく。**

H23議会報告会

400人を超える市民が参加

昨年10月に市内６箇所で開催し、議会活動の報告及び地域の皆さんとの意見交換を行いました。

今年度で３年目となる議会報告会では、444人（昨年度469人）の市民のみなさんにご参加いただき、誠にありがとうございました。全体会では議会の果たす役割について自治基本条例の検証の取り組み状況をご報告し、４つの分科会では各常任委員会での審査状況のご報告とテーマごとの意見交換を行いました。市民のみなさんからお寄せいただいた貴重なご意見は、今後の政策提言や委員会等での検討につなげ、より市民に信頼され期待される議会をめざし、努力してまいりたいと思います。

飯田市議会議長　上澤義一

議会報告会：分科会（飯田５地区）

議会報告会（飯田５地区）

市民のみなさんのご意見については、各委員会で検討のうえ以下のとおり重要な課題として取り上げました。今後、委員会で調査・研究を行っていきます。（詳細は市公式サイトに掲載していきます。）

総務文教委員会

■防災無線放送では言っていることが分からない。防災情報を的確に出してほしい。
■消防団員の確保が課題。団の制度も見直していかなければならない。

社会委員会

■買い物弱者について対策を講じてほしい。（移送サービス、団体育成・支援、公共交通体系など）
■高齢者のゴミの出しについて、容易に出せるよう対策を講じてほしい。

産業経済委員会

■有害鳥獣の被害を受けており対策を講じてほしい。
■市内に勤められる企業があれば地元から通えるので企業誘致や地場産業の育成を進めてほしい。
■遠山郷の観光は、市全体の観光資源としてとらえ、有効活用を考えてもらいたい。

建設環境委員会

■環境保全条例にはポイ捨ての項目がない。ポイ捨て条例への取り組みを検討願いたい。
■ゴミの分別が徹底できていない。併せて焼却場でのプラスチックを燃やすなど次期焼却場についてどのような考えを持っているか。

市民の声が活きる議会に向けて

議会報告会でお寄せいただいたご意見・ご要望 → 取り扱い検討（各委員会等）

→ 各委員会における調査・研究（議会側）

→ 市に対する意見等の申し送り確認・検討（市側）

→ 議会による政策提言・議案

→ 報告・公表：各地区まちづくり委員会へ／議会ホームページ・市議会だより掲載

※検討の経過で、市民のみなさんの声を市側に伝えるとともに、検討状況を市民のみなさんにお知らせしていきます。

今後の取り組み

市議会では、お寄せいただいたご意見のうち、市に対するものについては、市側に申し送りを行います。また、各委員会で課題として取り上げた事項については、今後、各委員会で調査研究のうえ、政策提言につなげていくなど、市民の声を活かした議会活動に取り組んでいきます。

代表質問

Q質問　A答弁　■他の質問項目

議会では、市行政全般について各会派と議員が市側に質問する機会を設けています。一般質問（各議員）は定例会毎に、代表質問（各会派）は、会派の意見を次年度予算に反映しやすいよう12月（第４回）定例会で行っています。

会派のぞみ　吉川秋利【120分】

Q　リニア飯田駅設置･地域開発等の課題に今後どう対応していくか。市民との考えの共有はどのように進めるか。

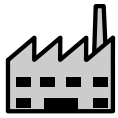
A　市民への説明は、全地区での市政懇等で説明し意識の共有に努めてきたが、十分に浸透されていない部分があり、そうした点を踏まえてしっかり取り組みたい。

Q　庁舎建設の理念の中に「市民の暮らしを守る防災･復興の本部拠点とする」とあるが、どのような配慮がされているか。

A　防災拠点機能としては、危機管理エリアを設置する新庁舎の議会防災棟の耐震安全性の分類をⅠ類とし、大規模災害の発生時においても災害対応の指揮･情報伝達のための十分な機能確保ができるものとしたい。

Q　既存企業の活性化と企業誘致についてどのように進めていくか。

A　既存企業の活性化についてハード面では、企業へのヒアリングを行い、交通インフラ等の整備要望を市の整備計画に反映している。加えて三遠南信道の延伸やリニア飯田駅へのアクセスを見すえ、産業振興における交通インフラ体系の整備の必要性について検討を進めている。



■平成24年度予算について■教育について■保健福祉について■環境について

会派みらい　森本美保子【120分】

Q　行政運営、行政経営(予算編成）で絶対に必要な基本的考え方の「リスクマネージメント」を問う。

A　「リスクマネージメント体制の確立」は、人口減少、少子高齢化、国等の下支えが期待できないという構造変化を冷静に受け止め、真に必要なことを選択していく考え方であり、様々なしくみの組替えを遂行することが、きわめて重要であると認識している。

Q　産業振興政策についてこれからはアジアの時代と受けとめ、日本はどう関わっていくか。また、地方としての経済交流をどう進めていくか。現状と将来に向けての施策は。

A　貿易相手国である中国は輸出入ともに第一位であるが、一方、超円高を背景に国内工場の海外移転の動きが強まっている。隣国たる中国とは文化面の交流も含め友好関係を促進していくことが肝要であると考える。

Q　文化事業について人形劇文化のレベルアップに向けた創造支援の考えは。

A　人形劇の芸術性を高められる創造活動の支援ほか、豊かな地域コミュニティの再生、多文化共生の推進など地域課題をとらえた活動を積極的に支援し、市民の生き生きとした姿を広く発信できるよう取り組んでいく。

■福祉政策について■男女共同参画・多文化共生について■環境政策について
■危機管理について■平和事業について

日本共産党　後藤荘一【120分】

Q　後期計画に基づいて行財政改革大綱が策定されようとしているが、経済財政状況を視野に入れながら、市民サービスや市民生活を低下させない改革プランの策定をすべきと考えるがどうか。

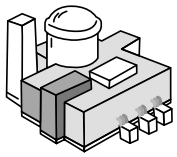
A　市民サービスや市民生活を低下させない取り組みは当然必要だが、施設のあり方や行政サービスの提供方法について、仕組みの組み換え作業を含め市民をはじめ多様な主体と一緒に考え、課題解決にあたることが必要である。

Q　3月の震災や原発事故をどう教訓として捉えているか。

A　再生可能エネルギーを単なる原発代替エネルギーとしてとらえるのではなく、今後のエネルギー需給の基本は、再生可能エネルギーと他のエネルギーとのベストミックスを図ることであると考えている。

Q　子どもたちの安全のため、学校給食（保育園、幼稚園も同様）の食材の放射能を高精度で測定できるよう、整備できないか。

A　飯田市では6箇所の学校給食調理場について、中部公衆医学研究所に依頼し、副食の放射性核種分析測定を10月後半より定期的に実施している。



■庁舎整備について

公 明 党 林 幸次【120分】

Q 「リニア将来ビジョン」の実現に向けて、重点的に取り組む課題は何か。

A この地域の自然、文化、多様性、地域力等守るべきものは守って未来に伝え、備えるべきものは備えていくこと、小さな世界都市や多機能付加価値都市圏により世界から注目されるよう地域の魅力を高めること、飯田を起点とした知のネットワークにより、レベルの高い展開を進めること、これらを戦略性を持ち先進的に取り組んでいく。

Q 三遠南信地域連携ビジョンについて平成24年度からの新連携組織への移行に、どのようなイメージと具体的戦略を持って臨むか。

A 新・連携組織については、今までどおり官民連携の組織としながら、行政間での広域連合についての検討を進めていく方向である。

Q 救急医療の充実のためのドクターカー配備の取り組み状況はどうか。

A 県の地域医療再生計画に盛り込まれているが、正式な内定通知がまだないので確定してはいない。内定を受けて、早期に配備するよう取り組みたい。

■リニア中央新幹線を見すえた地域づくりについて■行財政改革推進について
■経済対策・産業振興策について■保健・福祉行政について■環境政策について■子育て関連諸施策について

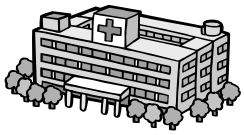
市民パワー 清水可晴【120分】

Q 人口増加策に対して、飯田工業高校の跡地に県工科短大の誘致を考えているか。

A 飯田工業高校跡利用についても検討しているが、人口減少の抑制策に関しては、やはり産業づくり・人づくり・地域づくりによる総合的な取り組みが必要と考える。

Q 飯田市立病院の果たす役割と医療の充実及び病院経営について、新病院長の抱負を伺う。

A 市立病院は当地域の中核病院として、地域の医療を守るとともに、医療水準の向上と新たな医療ニーズに応える上で、重要な役割を担っていると考えており、今まで以上に急性期高度医療に重点を置いた、十分に対応できる地域完結型の病院を目指していきたい。



Q 介護老人保健施設ゆうゆうの全面稼働の見通しは。

A 予定していた医師が対応できなくなり医師の確保に難航していたが、一定の目処ができたので、今後は介護員等の職員態勢を整えて平成24年の早い時期に70床で運用したい。

■快適で安全・安心のまちづくりについて■リニア中央新幹線の推進と都市計画及び道路等の整備について
■市長2期目の総仕上げを迎えるにあたって

関連質問 ■質問項目 ※質問順

☆湊 猛【会派のぞみ】

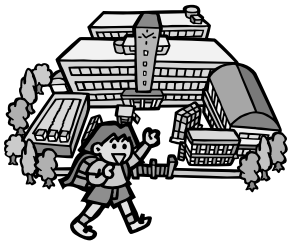
■三遠南信250万流域都市圏の創造を目指す三遠南信地域連携ビジョンの進捗について
○三遠南信自動車道早期開通に向け今後の取り組みは○多様な産業の中で特に力を入れる分野は
○防災連携は

☆井坪 隆【会派みらい】

■リニア飯田駅の定義について
○現駅との併設によらないリニア飯田駅とはどのようなイメージを描くか
○駅に求められる必要条件はなにか

☆内田雄一【日本共産党】

■全国一斉学力テストについて
○今年度の実施状況は○来年度の実施方針は



☆村松まり子【公明党】

■自立した大人への成長支援のために
○体験活動の意義と在り方は○学校と家庭での読書活動は

☆下平勝熙【市民パワー】

■消防団員の確保に関連して
○消防団員所属企業への協力要請はどのようになっているか
■リニアに関連して ○交通基本法の制定を国に要望し役割分担を明確にしていくことが必要と思うがどうか

一般質問

Q質問　A答弁　■他の質問項目

今定例会では８名の議員が行政事務全般について一般質問を行いました。ここではそれぞれの議員の質問の要点と答弁の内容を紹介します。

会派のぞみ

☆湯澤啓次【30分】 **Q 市民に分かり易いリニア時代の都市像の作成について、南信州地域の個性を活かす都市環状の考え方はどうか。**

A　「街」「里」「山」の多様な暮らしやライフスタイルを可能にするトータルとしての飯田市の魅力を発揮するためにも、道路や公共交通のネットワークが重要な要素であり、しっかりと検討したい。

☆新井信一郎【30分】 **Q 人材育成について飯田市版ＡＫＢ４８（御当地アイドル）育成など地域広報（親善活動）の現状はどうか。**

A　市として、飯田を発信するために著名人や芸能人に親善大使等の依頼はしていない。現在は、市長のトップセールスをはじめ、都市圏で地元出身者をまとめながら、飯田を発信してもらうよう「ふるさと親善大使」に飯田出身者を任命して活動いただいている。

■子育て支援について■公教育現場について

会派みらい

☆福沢　清【20分】 **Q 放置自動車の処理時期の明確化と周知はどうか。**

A　放置自動車という性格上、調査が困難なケースが多く、また警察等他の機関の調査によるところもあり、時間がかかってしまい関係者に処理が遅い、また連絡もないという印象をもたれてしまっていることはご指摘のとおりである。今後改善していく考えである。

☆原　　勉【40分】 **Q 市における業務継続計画（BCP）の取り組みについて、市の「地域防災計画」では災害発生時に優先して復旧させる重要業務、情報システムは特定されているか。**

A　現在の地域防災計画ではいわゆる業務継続計画の策定にまでは至っていない。現在は3年前の流行時に策定した新型インフルエンザ対応業務継続計画を準用して対応している。順次関連計画の業務継続計画化を推進している状況である。　**■後期基本計画における市長の政治姿勢は**

日本共産党

☆伊壷敏子【30分】 **Q 格差社会が広がるなかで、生活困難者をいかに支援していくかが課題と考える。就学援助制度拡充の取り組みはどうなっているか。**

A　追加３項目（クラブ活動費・生徒会費・ＰＴＡ会費）の実態は、文科系・スポーツ系のクラブによる違いのほか、居住地域単位でのＰＴＡ会費徴収の有無などは学校や地域によって異なり、一律的な適用は課題があると認識している。対応可能な項目から適用していく。

公 明 党

☆永井一英【30分】 **Q 世界に打って出る人材の育成は、学生が世界的人物に直接会って話すことだと思うが、「知のネットワーク」の構築によってできるか。**

A　人材育成に関しては、市民・地域・事業者・職員などが、大学との直接のやりとりを通じて新たな見方や知見を得ていくことで、地域の人材育成・人材開発が図られると考える。

■ものづくりに関わる産学官連携について

市民パワー

☆木下容子【40分】 **Q 地域健康ケア計画について重点プロジェクト実施で見えてきた成果は何か。**

A　「健康づくり家庭訪問事業」においては、橋北地区をモデル地区として、保健師が各世帯を訪問し、市の健康教室等について話をし、それぞれの事業の「つなぎ」役になることで、がん検診の申込率や特定健診の受診者数の増に加え、健康教室への新規参加者へとつながった。　**■人権、平和活動の推進について**

無 会 派

☆牛山滿智子【20分】 **Q 未受診・とびこみ出産について、リスクの大きい出産を少なくするため、市としてどう取り組むか。**

A　未受診での出産は、出産の準備をせずに来院されることが多い。母子手帳の確認や、出産育児一時金の申請などの手続きのフォロー、出産後の育児環境について相談に乗り、母親本人の了承を得た上で、地域の保健師に情報提供している。　**■大規模災害に備えた首都機能や大学研究機関の一部移転について**

請願陳情審査結果（受付順）

請願内容（審査経過は9頁に掲載）	請願者	結果
国に対し、介護職員処遇改善交付金の継続を求める意見書を提出願いたい	飯田市鼎中平 飯伊地区社会保障推進協議会 会長　唐沢　啓六	採　択

同意した人事（敬称略）

○固定資産評価審査委員
　長沼　弘明
○教育委員
　伊澤　宏爾

可決した意見書

介護職員処遇改善交付金の継続を求める意見書

庁舎建設特別委員会（11月28日、12月20日開催）

市民・まちづくり委員会等との情報共有を

■委員会の内容・質疑

11月28日委員会

◆新庁舎整備実施設計について

市側から実施設計の発注経過について「4社の建築設計事務所から成る地元企業体に業務委託することとし、業務期間は平成23年10月から平成24年6月まで、委託業務料落札価格は6400万円余である」との報告がありました。

◆来庁者駐車場について

Q 工事期間中の来庁者の駐車場確保について、どう考えるか。

A **庁舎西側にある公用車駐車場を愛宕神社横駐車場に移すなど来庁者駐車場を確保していきたい。**

12月20日委員会

市側から、移転いただく地権者の代替地の整備状況や河川沿いの工事の一部着工状況等の報告がありました。

◆情報共有について

Q 市民、まちづくり委員会との情報共有が大切であるが周知をどう考えるか。

A **情報公開は重要であると認識しており、今後も折に触れ状況をお知らせしていく。**

リニア推進対策特別委員会（10月14日、11月28日、12月20日開催）

議会としての行動を起こしては

■委員会の内容・質疑

12月20日委員会

◆リニア建設期成同盟会等について

市側から12月に開催された「リニア建設促進飯伊地区期成同盟会定期総会」、「中央新幹線環境影響評価方法書（長野県分）についての意見の概要」及び長野県の「新たな総合交通ビジョンの策定」について報告・説明がありました。

会議では「これまでの委員会において市議会として行動を起こすべきとの発言もあった。現地視察、勉強会及び関係者との懇談会を計画していきたい」旨の正副委員長提案を行い、理事者側と調整し計画していくことが確認されました。

◆駅位置への住民意見について

Q 期成同盟会総会では役員構成の見直しがあったが、駅設置エリア住民の意見はどこで反映されるか。

A **役員には飯田市まちづくり委員会連絡会から選ばれた代表が参画しており、市民の意見が反映されることとなる。**

市側に再申し入れ
～市の一連の不祥事について～

損害賠償に係る議会未提出案件を受け9月定例会において、市議会として今後このようなことがないよう市に強く申し入れを行い、市側から「法令遵守など、公務員として必要な研修を実施する」などの回答がなされました。

しかし、その後も住民税の課税漏れなど不適切な事案が発生したため「現下の状況を重くとらえ、全職員が危機意識を共有するよう速やかに徹底を図ること」など再度市に対し申入れを行い、市側に誠実な対応を求めています。

議会の役割について検討しています
議会制度検討委員会

議会制度検討委員会（昨年9月設置）では、飯田市自治基本条例における「議会の役割」についての検証に基づき、昨年12月までに延べ7回の検討委員会を開催し、「議案に対する賛否の公開」「会議資料の公開」「委員会の自由傍聴」などの課題について検討を進めています。

平成24年3月までに「議会運営ビジョン」としてまとめていきたいと考えていますので、市民のみなさんのご意見をお寄せください。

委員会開催日　11月30日、12月13日〔審査件数　分割付託１件、一括付託７件〕

主な審査案件

○議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び飯田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
○飯田市コミュニティ防災センター条例の一部を改正する条例の制定について
○飯田市暴力団排除条例の制定について
○財産の無償譲渡について
○公の施設の指定管理者の指定について（飯田市駄科コミュニティ防災センター）
○飯田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
○平成23年度飯田市一般会計補正予算（第６号）案
【消防団運営事業費 30,269千円、旧飯田測候所整備活用事業費 115,285千円、調理場整備事業 17,969千円等】

取締り・罰則の状況について ～暴力団排除条例～

審査の概要

■暴力団排除条例の制定に関する質疑

Q　暴力団対策法との違いは。

A　暴力的行為を防止するための規制、取り締まりを行うものではなく、暴力団に対して住民側からの利益供与や契約の禁止等、社会全体で暴力団の排除を行おうとするもので、事業所等に対して暴力団に関わらないよう勧告を行うことができる。

Q　取締まり、罰則はどうか。

A　県条例にはある罰則規定が、市条例にはない。条例では、県条例で対象にできない、市の事務事業と市の公の施設からの暴力団排除を規定する。具体的な違法行為があれば、警察と共同でそれぞれの個別法で対応していく。

■公の施設（駄科コミュニティ防災センター）の指定管理者の指定に関する質疑

Q　監査委員の指摘で集会施設については、指定管理になじまないと聞いていたが市の考え方は。

A　コミュニティ防災センターは、防災拠点と集会施設の両面の機能を備えており、地元駄科区に指定管理することとしたい。集会施設については、地元への譲渡も含め指定管理のあり方を今後段階を追って判断していく。

■平成23年度一般会計補正予算（第６号）案審査

◆課税事務委託費について

Q　国の税制度改正に伴う、市税システムを改修する業務の委託先は。

A　現在運用している住民基本台帳管理システムに付随するため、その業務を委託している株式会社電算になる。

◆調理場整備事業費について

Q　矢高共同調理場は大きな調理場であり、機器の整備に多額な費用がかかるが今後の整備の考え方は。また、施設を分散小規模化する考えはないか。

A　矢高共同調理場は平成８年から稼働しており、機器が老朽化してきているため、計画的な補修が必要である。今後の整備は、もう少しコンパクトにする考えもあるが具体的な計画は策定中である。

◆旧測候所整備活用事業費について

Q　旧飯田測候所整備活用事業費の基本的な考え方は。

A　市が土地開発基金で取得した時から、公園化する方向で進めてきた。この間、橋北地区での議論、庁内整備検討会議のなかで、隣接する東栄公園と一体的な整備を進めることとし、今回建物の耐震診断と公園整備のための実施設計委託料を計上した。貴重な歴史的建造物としての価値を有しており、耐震診断後に、本格的な利活用について判断していく。

旧飯田測候所（東栄町）

委員会開催日　12月14日〔審査件数　分割付託１件、一括付託４件、請願１件〕

主な審査案件

○飯田市保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定について
○飯田市病院事業条例の一部を改正する条例の制定について
○平成23年度飯田市一般会計補正予算（第６号）案
【有償移送サービス事業費571千円、居宅生活支援給付事業費101,178千円、民間保育所運営費53,053千円、福祉・介護・健康の里づくり事業費29,250千円、特別養護老人ホーム等建設補助事業費21,640千円、がん検診事業費31,387千円等】
○平成23年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第１号）案
【システム改修業務委託料4,610千円等】
○平成23年度飯田市病院事業会計補正予算（第１号）案
【医療用装置など備品購入費221,000千円等】

市の医療・福祉制度について活発な議論を展開

審査の概要

■飯田市病院事業条例の一部を改正する条例の制定に関する質疑

Q　緩和ケア内科には専門の医師はいるか。看護師などの体制はどうか。

A　専門の医師、看護師、診療技術部の技師など20名程度のケアチームを組織し対応している。

■平成23年度一般会計補正予算（第6号）案審査

◆有償移送サービス事業費について

Q　社会福祉協議会に委託している事業費の総額はいくらか。

A　補正に係る自動車の車検代、修繕費等も含め全体で250万円余である。

◆福祉・介護・健康の里づくり事業費について

Q　事業用地買収とは、具体的には何か。

A　地権者との合意が整ったため、これまで借地であった「介護老人保健施設ゆうゆう」の敷地を購入するものである。

◆児童福祉一般経費について

Q　所得税における年少扶養控除が廃止となったが、保育料の算定に影響はないか。

A　年少扶養控除が廃止されたことで、所得は変わらなくても結果的に所得税が増加するなど、保育料徴収基準の階層ランクが上がってしまう場合があるが、国からの通知により保育料に与える影響を可能な限り生じさせないように調整するものとした。

Q　保育料以外に影響はあるか。

A　所得税の増加により、国保税や介護保険料などについては増加するなど影響がある。

◆公立保育所保育補助員雇用事業費について

Q　未満児などの待機児童はいないか。

A　現在のところ待機児童はいない。年度途中の未満児保育の増加があった場合には、かりに保護者の第1希望の保育園が定員いっぱいであっても、受け入れ可能な他の園を紹介するなど柔軟な対応している。

◆中国帰国者生活費給付事業費について

Q　事業の全体像はどうか。また2世、3世の方への支援もあるか。

A　全体像は把握していないが、国費帰国者である41世帯、59人に対し支援をおこなっている。また、入学の手続きなどの通訳支援や日本語教室などは2世、3世の方にも利用していただいている。

◆がん検診事業費について

Q　受診の目標や実態など事業の効果はどの程度であったか。

A　県平均以上の受診率を目指している。平成23年度は11月末現在で約1万9千人の受診者があり、今後の受診予定者も含め、昨年度の2倍となる見込みである。

■請願第6号に対する審査

◆国に対し、介護職員処遇改善交付金の継続を求める意見書を提出願いたい

介護職員処遇改善交付金は、県の基金から事業者に交付され、介護保険料を増加させるなどの影響もないことから、交付金制度を継続すべきであり採択との意見と、交付金相当額を介護報酬に組み込み、介護労働者に直接報酬が渡る新しい仕組みが検討されていると聞く。新しい制度ができれば良いが、請願の趣旨も理解できることから、趣旨採択が妥当との意見があり、採決の結果、採択しました。

社会委員会レポート

◆地域福祉の現状・課題について市内20地区民生児童委員協議会役員との懇談会を昨年開催しました。

民生児童委員からは高齢者のゴミ出し困難、買い物困難交通不便などについてのご意見をいただきました。委員会として地域での福祉活動が円滑に実施できる環境整備について、今後も研究を進めます。

民生児童委員協議会役員のみなさんとの意見交換（市役所）

委員会開催日　12月15日〔審査件数　分割付託１件、一括付託１件〕

主な審査案件

○飯田市農業研修生住宅条例の制定について
【座光寺の教員住宅を改修のうえ農業研修生住宅として整備】

○平成23年度飯田市一般会計補正予算（第６号）案
【戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業費 13,450千円
農作物被害対策事業費 10,200千円、遠山郷観光振興費 1,681千円
天龍峡まちづくり支援事業費 357千円、
林道災害復旧費 12,450千円　等】

農業研修生への住宅支援は

審査の概要

■飯田市農業研修生住宅条例の制定に関する質疑

Q　座光寺地区に住宅を整備することは、以前から要望があり対応したのか。

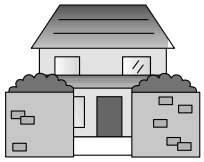
A　**座光寺の原地区では営農プロジェクトを立ち上げて取り組み、研修生を受け入れてきた。今回の住宅整備は、その取り組みの課題に対応したものである。**

Q　住宅の使用料設定の根拠はなにか。

A　**教員住宅として使用していた住宅料が1戸5800円であり、今回2戸を併せた改修で、それらを勘案した。また、同規模の公営住宅との比較も行っており、施設維持に必要な経費を賄える料金設定とした。**

Q　研修生の住宅は充足しているか。

A　**最終的に就農し、定住してもらうことが重要である。空き家の紹介が基本的な考え方であり、今後もその方針で取り組んでいく。**



■平成23年度一般会計補正予算（第6号）案審査

◆農作物被害対策事業費について

Q　鳥獣害対策にかかる予算を補正で計上する意図はなにか。

A　**鳥獣害対策の重要性は認識している。当初予算で予定していた捕獲頭数を上回ることになったため、今回実績見込みで補正予算を計上した。**

◆天龍峡温泉交流館管理費について

Q　天龍峡温泉交流館の利用状況は。

A　**温泉交流館利用者の平成22年度実績は1万人余であった。本年度は、7月まで東日本大震災の被災者を受け入れたため、利用者数は例年の半数近くまで減っていたが、9月以降昨年同月を超える月1200人程度まで回復してきた。**

◆南信濃観光施設管理費について

Q　遠山郷観光の入込状況はどうか。

A　**22年度実績で7万6千人である。本年度は震災と台風関連の影響で10月までの間5万人余となっているが、夏と秋の入込は平年並みとなった。**

産業経済委員会レポート

◆鳥獣害に対する取組強化に向けて、昨年飯田市連合猟友会の役員のみなさんとの懇談会を開催しました。有害鳥獣対策を担う組織の持つ課題を直にお聞きし、問題の深刻さを実感しました。

【意見交換の内容】
・狩猟免許取得の現状
・カワウの被害
・広域連携による有害駆除
・わな猟について
・柵の効果について
・地域ぐるみの鳥獣害対策活動
・射撃場の老朽化　など

銃砲所持許可の環境整備及び猟友会会員の拡大に向けた支援策の検討などの議会として何ができるのか整理して引き続き調査研究を行っていきます。

猟友会のみなさんとの懇談会（市役所）

委員会開催日　12月16日〔審査件数　分割付託１件、一括付託２件〕

主な審査案件

○平成23年度飯田市一般会計補正予算（第６号）案
【社会資本整備総合交付金事業費（活力創出基盤整備）93,186千円、社会資本整備総合交付金事業費（市街地整備）40,444千円、道路舗装補修費30,000千円、橋りょう補修事業費1,000千円、現年発生土木施設補助災害復旧事業費154,199千円　等】

○平成23年度飯田市簡易水道事業特別会計補正予算（第２号）案
【施設改良費5,300千円】

○平成23年度飯田市水道事業会計補正予算（第１号）案
【水道事業営業費12,120千円】

道路・橋りょうの補修状況は

審査の概要

■平成23年度一般会計補正予算（第６号）案審査

◆道路舗装補修事業費について

Q　例年、冬期間のしみ上がりによる道路の補修が必要になるが、経費圧縮のための工夫はできないか。

A　新設道路や改良を行う道路は、凍結する深さを考慮した路盤を施工するので冬期のしみ上がりによる舗装の破損はないが、路盤が不十分な道路については、しみ上がりが発生する場合がある。補修時には、路盤を施工し、再度のしみ上がりを防止することで経費の縮減に努めている。

Q　国県事業等の影響で市道の舗装補修が必要になった場合は、国県等で対応できないか。

A　他事業関連が原因で、舗装補修の必要性が認められた場合は、国県等と調整し対応をお願いしている。

◆橋りょう補修事業費について

Q　当該箇所は国県による三遠南信工事関連の橋であると思うが、何故、市の単独事業扱いか。

A　補修箇所は、橋りょうの本体ではなく、原因不明で曲がってしまった配水パイプであるため、管理者である市が工事の主体となった。

建設環境委員会レポート

◆南信州広域連合において、次期ごみ処理施設建設が課題となって検討されています。今後、市のごみ処理計画の策定結果が大きく影響することから、市議会としても調査・研究を深め、論点を明らかにするため、昨年先進地視察を行いました。

穂高広域施設組合（安曇野市）　高効率乾式メタン発酵システム

バイオマス資源（生ごみ・紙ごみ、木質系バイオマス）を有効活用し、効率的かつ有効な気体燃料（メタンガス）や固形燃料を生産できるシステムを採用しているとのことです。

処理規模　7トン／日
施設稼働日数　6日／週

「くり～んひる西部」（下伊那郡西部衛生施設組合）

旅館・病院等からの事業系生ごみを廃棄物処理業者が収集し、メタン発酵させることで発生したバイオガスにより、発電を行っているとのことです。

傍聴席

この欄では、傍聴者からのアンケートにより市議会に寄せられた市民の皆様の声を紹介します。

□本会議について

◆（議会の音響設備の故障について）
マイクの電源が入らず対応がまずい。尊い時間の無駄使い。危機管理の問題にも通ずる。肩書きばかりの危機管理ではないはず。
（女性）

※せっかく傍聴に来ていただきましたが、設備不調のため、ご迷惑をおかけいたしました。新庁舎の建設を控えており、機器修理などの対応をしてまいります。
（飯田市議会事務局）

□委員会について

◆ふれあいサロンでお邪魔いたしました。本会議場の見学もさせていただき、新しい議会棟ができました折には、本会議の傍聴をさせていただきたいと思います。テレビによる市議会と現場の違いを肌で感じたいものです。多くの市民の方の傍聴を期待いたします。
（女性）

議員コーナー（議席順に掲載）

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。

～そば談義～　清水可晴

南信州　飯田そばの会の皆さんにご指導いただき、本格的にそば打ちを始めて数年が経ちました。挽きたて、打ち立て、茹でたてと語り合うそば打ち愛好者とのそば談義は大変盛り上がります。上村そば打ちの会、下栗地区の皆さん、勤労協の収穫祭、例会仲間とのそばの会、我が家の年越しそば打ちに励んでいます。

そば打ちを始めた頃のそば切りは「きし麺」か「うどん」の太さに大笑いしたのも懐かしい思い出です。「だし」と「かえし」を合わせて作る「そばつゆ」もこだわっています。

最近、下栗の畑をお借りしてそばを作付しています。傾斜畑での作業は大変ですが、日本のチロルと言われ景色の良い天空での作業は爽快です。

昔懐かしい足ふみ脱穀機、唐箕を持ち寄って、そばを収穫する喜びと、郷愁を語り合うひと時は楽しいものです。

～日本人の誇りと強さ～　林　幸次

恐ろしい魔物が大口を開けて沿岸地帯のまちを飲み込んでいった、あの余りにも残酷で悲惨な東日本大震災から早10か月が過ぎた。

震災直後の大混乱の中で、雪降るなか整然と食料を調達する被災者の姿や、交通機関が止まりパニックを起こさず淡々と家路に着く帰宅困難者などの秩序ある行動に、深く感動し日本人としての誇りを感じた。

被災された方々が、恐怖と悲嘆の淵から逞しく立ち上がり、復興に向けて生きるその健気さや力強さに、感銘を覚えるものである。

日本は戦後の焦土から蘇り誇るべき国を築いたのをはじめ、幾多の困難を乗り越えてきた歴史がある。日本人には世界に誇る高いモラルと勤勉さと忍耐力がある。この国難を乗り越え復興・再建を果たし、世界に貢献する強い日本を取り戻さなければならないと思う。

失われた幾多の尊い命は取り戻すことはできないが、多くの方の犠牲には国を復興させる意味と力がある。

議会傍聴におこしください

飯田市議会では、どなたでも本会議を自由に傍聴いただくことができます。また小中学校等の見学も受け付けています。（お席に限りがありますので、団体でお越しになる場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。）

議会本会議の中継を行っています。飯田ケーブルテレビ デジタル714ch で中継します。

ご意見をお寄せください

「市議会だより」では、議会の活動状況をわかりやすくお伝えするよう努めてまいります。今後の編集に役立てたいと思いますので、ご意見、ご感想などをお寄せください。

「市議会だより」のバックナンバーを飯田市公式サイトに掲載しています。

URL　http://www.city.iida.lg.jp/

〒395-8501（住所記載不要）
飯田市議会事務局
☎0265-22-4523(直通)　Fax0265-53-8821
E-mail:igikai@city.iida.nagano.jp

議会の動き（予定）

■平成24年第1回定例会（会期2月28日～3月22日）

◇一般質問　3月7日（水）、8日（木）

◇委員会

総務文教委員会	3月12日（月）
社会委員会	3月13日（火）
産業経済委員会	3月14日（水）
建設環境委員会	3月15日（木）
庁舎建設特別委員会	2月24日（金）3月19日（月）
リニア推進対策特別委員会	2月24日（金）3月19日（月）

◆請願・陳情の〆切：2月22日(水)午後5時